

2008年2月8日

株式会社ソフトフロント
代表取締役社長 阪口 克彦
(証券コード番号:2321)

問い合わせ先:取締役財務・管理統括担当
佐藤 健太郎
電話番号:03-3568-7007

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年9月28日に『業績予想の修正に関するお知らせ』において公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

通期

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	1,060	150	145	160
今回修正予想(B)	700	△185	△190	△175
増減額(B-A)	△360	△335	△335	△335
増減率(%)	△34.0%	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成19年3月期)	961	46	44	42

(参考) 1株あたり予想当期純利益(通期) △2,028円47銭

2. 修正の理由

当事業年度通期業績予想におきまして、売上高・経常利益・営業利益・当期純利益ともに前回予想を下回る見込みとなりました。

売上高につきましては、当事業年度後半に見込んでおりました2つの大型案件につきまして、計画の中断および研究開発方針変更による今年度分の規模縮小があったことが主な要因となり売上高に大きく影響いたしましたことと、これらを補う案件の獲得が困難な見通しであることから、受託開発案件の受注が当初見込よりも減少いたしました。

この状況を踏まえ、今後はNGN、FMC等に向けた各種トータルソリューションのご提供を推進するとともに、お客様とのより緊密な関係を構築することで、お客様の開発計画に沿って、より広範囲にわたる受託開発案件の獲得を図ってまいります。

営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、前回発表時において利益率の高いソフトウェア販売の増加と外注加工費を中心とした経費削減による増額を見込んでおりましたが、経費削減の効果が、売上高の減少幅を補うに至らず、前回発表を下回る見込みとなりました。

(注)

上記に記載した業績予想等は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等はこの資料に記載されている予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上
